



国立民族学博物館 友の会ニュース

MINPAKU ASSOCIATES NEWSLETTER

No.276
2022.11・12

「国立民族学博物館友の会」は「みんぱく（国立民族学博物館）」の活動を支援し、博物館を楽しく、積極的に活用するためにつくられました。

発行日 2022 年 11 月 1 日
編集・発行 公益財団法人千里文化財団



総舞のフィナーレを飾る「魁曲」撮影・神野知恵、2018年

プログラム

step1 映像視聴 みんぱくの映像をご自宅で！

新番組をはじめ、伊勢大神楽をテーマとするみんぱくの映像番組3本をご自宅で楽しみいただきます。

●配信期間 11月25日（金）～12月2日（金）

step2 レクチャー 映像制作・調査の裏側に迫る！

番組制作の裏側、伊勢大神楽の総舞について同行講師の神野先生にお話しいただきます。オンライン（中継・アーカイブ公開期間あり）でもご視聴いただけます。

●話題 「旅する獅子、伊勢大神楽の一年を追う～映像取材と総舞見学のよもやま話～」

●日時 12月3日（土）10:30～12:00

●会場 みんぱく 第3セミナー室（オンライン配信あり）

step3 現地訪問 伊勢大神楽 総舞を見学！

現地・増田神社（三重県桑名市）で総舞を見学します。神楽師たちの妙技の数々をお楽しみください。

●開催日 12月24日（土）

JR桑名駅 10時頃集合→15時頃解散（予定）

12:30～13:30 伊勢大神楽総舞 見学

13:30～14:30 伊勢大神楽講社の方のお話

総舞の待機時間は本企画限定オリジナル音声ガイドをご用意。おれとお守りをお持ち帰りいただきます。

旅する獅子 伊勢大神楽 総舞見学

今夏、みんぱく映像民族誌の新番組として「それでも獅子は旅を続ける——山本源太夫社中伊勢大神楽日誌」が加わりました。伊勢大神楽とは、厄払いの獅子舞と「放下芸」とよばれる曲芸を演じながら、一年をとおして西日本各地を巡行する集団とその芸能を指します。この獅子舞を見ると伊勢参詣に代わるご利益があると信じられ、各地で受け入れられてきました。毎年二、三、四日に各地を巡行する五つの社中が参集し、三重県桑名市太夫の増田神社で獅子舞と放下芸を奉納します。講社にとって一年を締めくくる行事でもある、この増田神社の総舞をみなさんと一緒に見学します。映像・レクチャー・現地訪問の三本立てで伊勢大神楽に迫ります。

同行講師 神野 知恵（人文知コミュニケーション、民博特任助教）

現地訪問 2022 年 12 月 24 日（土）

映像視聴・レクチャーの実施日はプログラムをご覧ください。

費用 12,000 円

募集人数 20 名（最少催行人数 15 名・先着順）

申込締切 2022 年 11 月 15 日（火）

※伊勢大神楽の総舞は神事芸能です。参加条件や注意事項は下記催し詳細ページのフライヤーをご確認ください。

催し詳細・受付フォーム

<https://www.senri-f.or.jp/83taiken/>



友の会の
現地訪問企画
再開します！

研究者同行の国内現地訪問企画「体験セミナー」。感染症の状況を踏まえて三年間お休みしていましたが、とうとうこの冬、開催します！再開後、第一回目の企画では、『季刊民族学』一七五号でも取り上げた伊勢大神楽を映像・レクチャー・現地訪問の三本立てでお楽しみいただきます。研究者同行の現地訪問企画はみんぱく友の会の醍醐味です。みなさんぜひご参加ください。

第83回体験セミナー

販売中！ 2023年 国立民族学博物館オリジナルカレンダー

海のくらしアート

東南アジアとオセアニアの漁具・舟具・儀礼用具



12月13日（火）まで開催中の企画展「海のくらしアート展——モノからみる東南アジアとオセアニア」の展示資料から選びました。

友の会会員価格
1,287円（税込）
定価 1,430円（税込）

お問い合わせ

みんぱくミュージアム・ショップ（水曜日定休）

e-mail shop@senri-f.or.jp

オンラインショップ「World Wide Bazaar」

<https://www.senri-f.or.jp/shop/>

巡回展のご案内

みんぱくのビーズ資料が東京にまいります！

ビーズ

——つなぐ かざる みせる
国立民族学博物館コレクション

会期：2022 年 11月15日（火）

～2023 年 1月15日（日）

会場：渋谷区立松濤美術館

ビーズには、人類が積み重ねてきた歴史や文化が凝縮されています。一粒から無限に広がるビーズの世界をご堪能ください。

観覧料

大人800円、大学生640円、高校生・60歳以上400円、小学生100円

※ビーズ割引（ビーズ着用で適用）・各種割引あり。

休館日

月曜日（ただし1月9日は開館）、祝日の翌日、年末年始



渋谷区立松濤美術館

<https://shoto-museum.jp/>



ミュージアム会員、みんぱくフリーパス会員の方にもご利用いただけます!／

友の会講演会と友の会会員先行予約枠のご利用について

みんぱく友の会では毎月第1土曜日に友の会講演会を実施しています。また、一部の館内催しには友の会会員先行予約枠があります。2022年11月より、友の会講演会の無料聴講とオンライン聴講、ならびに友の会会員先行予約をすべての会員のみなさまにご利用いただけるようになりました。ぜひご利用ください!

【ご利用内容】

・友の会講演会の無料聴講・オンライン聴講(東京講演会も含む)

・友の会会員先行予約枠の適用

対象:維持会員、正会員、家族会員、ミュージアム会員、みんぱくフリーパス会員

会員先行予約のご案内

会員先行予約のご利用は会場でのご参加に限ります。該当期間中に友の会事務局までご連絡ください。

会員先行予約が定員に達した場合は、一般受付をご利用ください。

催しの詳細、オンライン予約については、みんぱくホームページ内の各催しのご案内をご確認ください。

催しの詳細はこちら! <https://www.minpaku.ac.jp/event/>



みんぱくゼミナール

第528回

神殿をつくることから生まれた文明

——古代アンデスの祭祀建造物

講師 松本 雄一(民博准教授)

日時 12月17日(土)13:30~15:00(開場13:00)

会場 みんぱくインテリジェントホール(講堂)(定員200名)

申込期間

■友の会先行受付(定員40名)

期間: 11月14日(月)~18日(金)

■一般受付(オンライン予約)

期間: 11月21日(月)~12月14日(水)

・当日参加受付(定員40名)

第529回

アラビアンナイトと ヨーロッパの音楽風景

講師 西尾 哲夫(民博教授)、岡本 祥子(ピアニスト)

岡本 尚子(民博特任助教)

日時 2023年1月21日(土)13:30~15:00(開場13:00)

会場 みんぱくインテリジェントホール(講堂)(定員200名)

申込期間

■友の会先行受付(定員40名)

期間: 12月12日(月)~16日(金)

■一般受付(オンライン予約)

期間: 12月19日(月)~1月18日(水)

・当日参加受付(定員40名)

みんぱく映画会

みんぱくワールドシネマ

ハニーランド 永遠の谷

解説 池谷 和信(民博教授)

司会 菅瀬 晶子(民博准教授)

日時 2023年1月14日(土)13:30~15:45(開場13:00)

会場 みんぱくインテリジェントホール(講堂)(定員200名)

申込期間

■友の会電話先行受付(定員40名)

期間: 12月5日(月)~9日(金)

■一般受付(オンライン・電話予約)

期間: 12月12日(月)~1月6日(金)

みんぱく映像民族誌シアター <館外で開催>

みんぱく製作のDVD「みんぱく映像民族誌」シリーズの収録作品を上映します。

会場 シアターセブン(大阪・十三)

参加方法 ①会場参加(シアターセブン)[各回定員26名]

②オンライン参加(ライブ配信)[各回定員100名]

それでも獅子は旅を続ける

——山本源太夫社中 伊勢大神楽日誌

解説 神野 知恵(民博特任助教)、山中 由里子(民博教授)

杉浦 康博・斎藤 晋(伊勢大神楽講社 山本源太夫社中)

司会 黒田 賢治(民博助教)

日時 2023年1月22日(日)13:30~16:00(開場13:00)

マレーシア クランタンの影絵人形芝居

解説 福岡 正太(民博教授)、戸加里 康子(東京外国語大学 非常勤講師)

司会 黒田 賢治(民博助教)

日時 2023年1月28日(土)14:00~16:00(開場13:30)

申込期間

■友の会先行受付(定員5名)

期間: 12月12日(月)~16日(金)

■一般受付(オンライン予約)

期間: 12月19日(月)~1月13日(金)

漢族の祖先祭祀と祖廟

解説 韓 敏(民博教授)

司会 黒田 賢治(民博助教)

日時 2023年2月5日(日)14:00~16:00(開場13:30)

オアシス都市の暮らし

解説 寺村 裕史(民博准教授)

司会 黒田 賢治(民博助教)

日時 2023年2月11日(土・祝)13:30~16:00(開場13:00)

申込期間

■友の会先行受付(定員5名)

期間: 12月19日(月)~23日(金)

■一般受付(オンライン予約)

期間: 12月26日(月)~1月27日(金)

申込方法

◆友の会先行受付 <申込先着順/本人を含む2名まで> 【申込先】千里文化財団友の会事務局 電話 06-6877-8893 (9時~17時、土日祝を除く)

◆一般受付 <申込先着順/本人を含む2名まで> みんぱくホームページ内のイベント予約サイトよりお申し込みください。
オンライン以外の受付方法については、みんぱくホームページならびにフライヤーをご確認ください。

いずれも事前申込制(先着順)。参加無料。ただしみんぱく映画会は要会員証または展示観覧券。
ご参加の方には入場整理券を当日11時から本館2階みんぱくインテリジェントホール(講堂)前にて配布します。

11・12月のイベントスケジュール

■特別展

11/23(水・祝)まで「Homō loquēns
『しゃべるヒト』——ことばの不思議を科学する」

■企画展

12/13(火)まで「海のくらしアート展
——モノからみる東南アジアとオセアニア」

●友の会講演会【オンラインは要事前申込】

11/5(土)須藤健一(※)、12/3(土)小川さやか(※)

●みんぱくゼミナール【要事前申込】

11/19(土)吉岡乾、12/17(土)松本雄一

●みんぱくウィークエンド・サロン

11/13(日)末森薫、11/20(日)井原綾・吉岡乾
11/27(日)丹羽典生、12/11(日)市野進一郎

●研究公演【要事前申込】

11/26(土)
「口承文芸から現代詩、そしてヒップホップへ
——モンゴルの韻踏み文化」(※)

●みんぱく映画会【要事前申込】

11/3(木・祝)「たき火」(受付終了)

●その他の催し【要事前申込】

11/12(土)
特別展関連ワークショップ
複言語・複文化脱出ゲーム 中国語編
「本の世界からの脱出」
11/12(土)中牧理事長のオンラインサロン

【館外での催し】

■巡回展

11/15(火)～1/15(日) 会場：渋谷区立松涛美術館
国立民族学博物館コレクション
「ビーズ——つなぐ かざる みせる」

●体験セミナー

「旅する獅子——伊勢大神楽 総舞見学」
12/3(土)事前レクチャー、12/24(土)現地訪問

●公開講演会

11/11(金) 会場：日経ホール(東京都)
「『民族』再考——日本と台湾から」(※)

- ◆※印は会場とオンライン配信の併用で実施する催しです。詳細はみんぱくならびに友の会のホームページをご確認ください。
- ◆イベントの参加には必ず会員登録をご持参ください。

提携館割引の一部休止に関するお知らせ

奈良国立博物館で開催する「第74回正倉院展」では、新型コロナウイルスの感染予防・拡大防止の観点から会期中の日時指定制が導入されます。そのため、友の会会員登録の提示による割引が適用されません。なお、常設展の割引には変わらずご利用いただけます。

ぼくのみんぱく日記

画・中川洋典



友の会講演会のご案内

お申し込みには、友の会ホームページ内の受付フォームをご利用ください。

■大阪

会場参加(第5セミナー室・定員96名)に限り、友の会会員の方は事前予約が不要です。当日、会場受付にて会員証をご提示ください。オンラインでの聴講は事前申込が必要です。

■東京

事前申込先着順です。オンライン配信はございません。

※大阪・東京ともに会場での聴講は、友の会会員以外の方もご参加いただけます。(参加費500円)

大 阪

第531回

分断された商世界をつなぐ 「ローカル・インフルエンサー」

——タンザニアにおける商人のソーシャルメディアの利用とビジネスの未来

講 師：小川 さやか(立命館大学教授)

日 時：12月3日(土)13:30～15:00(開場13:00)

参加方法：①第5セミナー室での参加 ②オンライン(ライブ配信)での参加

タンザニアでは、インスタグラムなどのSNSを利用した商売が活性化しています。本講演では、商人たちがSNSを利用した商売を通じて、客筋やフォロワーといった自身の「系譜」をいかに築いていくか、そして同時に、各商人の「系譜」ごとに分断された商世界をいかにつなぎ合わせていくかをお話します。そこから競争的なビジネスとんだか息苦しいSNS社会を楽しむヒントを考えます。



受付フォーム <https://www.senri-f.or.jp/531tomo/>

第532回

フランスのモン農民と考える「自由」

講 師：中川 理(民博准教授)

日 時：2023年1月7日(土)13:30～15:00(開場13:00)

会 場：第5セミナー室 ※オンライン配信はございません。

ラオスから難民としてフランスにやって来たモン(Hmong)の農民たちと付き合っていると、彼らの「自由」へのこだわりに驚かされます。しかし、どうやら彼らにとっての「自由」は、私たちの考える「自由」とどこか違っているようです。この講演会では、蒙の生き方ととして、「自由」のとらえ方を見直してみたいと思います。



受付フォーム <https://www.senri-f.or.jp/532tomo/>

東 京

第131回

古代エジプト文明の新たな研究拠点

——大エジプト博物館への日本の支援

講 師：末森 薫(民博准教授)

日 時：2023年1月28日(土)13:30～15:00(開場13:00)

会 場：JICA地球ひろば セミナールーム600(定員40名)

※オンライン配信はございません。

ギザの三大ピラミッドの近くに、古代エジプト文明の新たな研究拠点「大エジプト博物館」が建設中です。建物は完成目前であり、多くの来館者を迎えるべく展示の準備などが進められています。世界最大規模の博物館の建設にあたって、日本は資金援助だけでなく、人材育成や技術支援を進めてきました。その背景や成果をお話します。



受付フォーム <https://www.senri-f.or.jp/131tokyo/>

友の会会員限定の無料オンラインイベントを開催します!

中牧理事長のオンラインサロン

日 時：11月12日(土)13:30～14:30 ※受付は11月7日(月)まで

民博名誉教授でもある中牧理事長のレクチャー、参加者が交流できるトークルームをご用意。おしゃべりや情報交換を楽しみましょう!



■第527回■2022年8月6日(土)

探検、博物学、強制収容

——朝枝利男とアメリカ

丹羽 典生 (民博教授)

第二次世界大戦の最中、一九四二年に米国大統領フランクリン・ルーズベルトが大統領令九〇六六号を出してから、今年でちょうど八〇年がたちます。この大統領令は、突如として強制収容所での生活を余儀なくされる多くのアメリカ在住の日系人を生み出すものでした。戦争が日常生活を送るに過ぎない一般人にまで悪影響を及ぼした不幸な事態でした。

国立民族学博物館に映像・音響資料が保存されている探検家・朝枝利男^{あきえだとしお}もそうした収容所経験をもつ日系人のひとりでした。そこで本講演では、発表者が民博のフォーラム型情報ミュージアムプロジェクトにおいて精査を続けてきた朝枝利男コレクションを取り上げ、朝枝のまなざしをおとした彼のアメリカでの体験を紹介しました。

朝枝にとつてのアメリカ体験は、留学の挫折、収容所での生活という喜ばざる側面があったことは否定できません。しかしその一方で、日本人としては例外的な太平洋地域での幅広い探検への参加、最先端の博物学的技術への接近とそれらの技術の深い習



ハワイのカウアイ島で風景画を描く朝枝利男 (1936年11月、国立民族学博物館朝枝利男コレクションX0078501)

得、裏方ながら戦前の民族学・博物学・考古学への分野をこえた幅広い貢献など、終生、商売よりは学問的な営為に関心を注いでいた朝枝利男にとつて、身ひとつでそうした希望の生活を切り開くことを可能とする土地であつたともいえます。本講演では、そうした朝枝自身の生涯の側面を、彼の残した豊富な水彩画や写真を通じて、紹介しました。

■第528回■2022年9月3日(土)

伝わらないことば

吉岡 乾 (民博准教授)

本講演会は二〇二二年秋にみんぱくで開催されている特別展「*Homo loquens* 『しゃべるヒト』」ことばの不思議を科学する」に関連で実施しました。この特別展ではヒトの言語について多角的に紹介をしており、言語によって意思疎通が可能なのはなぜなのかなども紹介されています。

言語(ことば)を持ったヒトは、思考を言語化し、発話し、それが相手に受容され、理解されるといふ一連の流れの許で、メッセージの伝達をしています。その発端である複雑な思考にも、言語は役立っています。情報伝達をするという側面だけで言えば、動物のコミュニケーション手段も同じく果たす機能ではありますが、架空のことや、過去・未来のこと、仮定の話なども思考・伝達できるのは、ヒトの言語にのみ備わっている、特徴的な部分でもあります。この講演要旨文も、言語の持つ伝達機能を最大限に發揮して、読み手の皆さんに、既に終了した過去の講演内容をお伝えしています。



メッセージが部分的に欠けてしまうと、ことばはちゃんと伝わらなくなる 撮影・吉岡 乾、2022年

けれども、言語を用いても、巧く考えが相手に伝えられなかった経験というのは、誰にでもあるのではないのでしょうか。「話を通じない」というヤツです。今回の講演では、言語を用いたやり取りで意思疎通に失敗する様々な事例に関して、その失敗のメカニズムを明らかにしました。翻つて、巧く伝えられることば遣いとはどういうものかのコツをも、考えてみました。それでも受け手の姿勢次第では伝えようがないので、諦めざるをえない場面もありますね。

本紙掲載の情報は、2022年10月20日時点で決定している内容です。新型コロナウイルス感染症の影響等により急遽予定を変更する可能性があります。

お問い合わせ、お申し込みはこちら

友の会はいつでも、どなたでもご入会いただけます。

国立民族学博物館友の会

公益財団法人 千里文化財団

〒565-8511

大阪府吹田市千里万博公園10-1(国立民族学博物館3階)

電話：06-6877-8893(平日9:00~17:00)

FAX：06-6878-3716

e-mail：minpakutomo@senri-f.or.jp

みんぱく友の会LINE公式アカウント 友だち募集中

友の会が企画する刊行物やイベント、会員先行予約のある館内催しの情報を定期的にお届けします。
会員以外の方のご登録も大歓迎です！



みんぱく友の会
ホームページ
https://www.senri-f.or.jp/minpaku_associates/



みんぱく友の会
Facebook
<https://www.facebook.com/minpakutomo/>